

Binette Schroeder

The Beautiful Fantasy World

ビネッテ・シュレーダー

美しく不思議な世界



①『お友だちのほしかったルピナスさん』より「紙の家でおやつ」

1968-69年、ガッシュ・紙

各位

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、伊丹市立美術館では7月5日（土）－8月31日（日）に、「**ビネッテ・シュレーダー展 美しく不思議な世界**」を開催いたします。

ドイツの絵本作家ビネッテ・シュレーダー（Binette Schroeder: 1939- ）は、幻想的な色彩と寓意的なモチーフによって描かれた美しく不思議な世界により、多くの子どもたち、そして大人たちを魅了します。本展は、『お友だちのほしかったルピナスさん』や『わにくん』などの代表作をはじめとする世界中で長年愛されている数々の名作絵本から原画や草稿を展示するとともに、一枚絵やマリオネット、石の創作など絵本以外のさまざまな創作を加えた約200点をご紹介します。

つきましては、「**ビネッテ・シュレーダー展 美しく不思議な世界**」を貴媒体にてご紹介賜りたく、お願い申し上げます。

伊丹市立美術館

2014年5月

Press Release

p2：展覧会要項

p3：広報用画像

p4：広報用画像とチケットプレゼントの申込書

Press Inquiry

岡本（展覧会担当） / okamoto@artmuseum-itami.jp

斎藤・玉澤（広報） / info@artmuseum-itami.jp

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前 2-5-20 伊丹市立美術館

TEL 072-772-7447 / FAX 072-772-5558



ビネッテ・シュレーダー

© Ute Karen Seggelke

ビネツテ・シュレーダー 美しく不思議な世界



②『お友だちのほしかったルピナスさん』より「おおさわぎ」 1968-69年、ガッシュ・紙

絵本作家 **ビネツテ・シュレーダー** (Binette Schroeder, 1939-) は、『お友だちのほしかったルピナスさん』や『わにくん』などの代表作をはじめ、これまで24作の絵本を出版し、さらに70歳を超えてもなお新作に取り組んでいます。

シュレーダーはドイツのハンブルクに生まれ、ミュンヘンの美術学校を経たのちにスイスの実業学校でグラフィックを学び、さらにベルリンに移ってからはグラフィック・デザイナー、肖像写真家、イラストレーターとして働きます。しかし絵本作家になるという子どもの頃からの夢を諦めることはなく、自分なりに絵本を描きつづけました。そして1969年、初めての絵本『お友だちのほしかったルピナスさん』でBIB金のりんご賞をはじめ数々の賞を受賞し、絵本作家として歩みはじめます。**「子どもたちが絵を見ているうちに、その中に入ってしまうような、そういうファンタジーの世界を描き出したい」**というシュレーダーの絵本には、透明感のある色彩が塗り重ねる幻想的な情景が描かれており、みる者を物語世界へと誘い込みます。

本展では、世界中で長年愛されている数々の名作絵本から原画や草稿を展示するとともに、一枚絵やマリオネット、石の創作なども加えた約200点をご紹介します。シュレーダーが描く**美しく不思議な世界**をお楽しみいただきます。



③『アーチボルドのほったた』より「リンゴの木」 1968-70年、ガッシュ・紙

会期： 2014年7月5日(土) — 8月31日(日)

開館時間： 10:00—18:00 (入館は17:30まで)

会場： 伊丹市立美術館

休館日： 月曜日(ただし7月21日は開館、翌22日は休館)

入館料： 一般800(700)円、大高生450(350)円、中小生150(100)円

* ()内は20名以上の団体割引

*兵庫県内の小中学生はココロカード呈示にて無料

*4市1町(伊丹市・川西市・宝塚市・三田市・猪名川町)の高齢者割引有

(平日60歳以上、土日祝65歳以上)

主催： 伊丹市立美術館 [公益財団法人伊丹市文化振興財団・伊丹市]、
神戸新聞社

共催： 伊丹市教育委員会

後援： サンテレビジョン、ラジオ関西

協力： 岩波書店、偕成社、福音館書店

イベント

ギャラリー・トーク

：シュレーダーの作品の魅力について会場を巡りながらお話いただきます。

講師：武井利喜(小さな絵本美術館館長)

日時：7月5日(土) 午前11時～、7月26日(土) 午後2時～

*申込不要・要当日観覧券

石ころアート「なににみえるかな？」

：石ころが○○に変身!?想像をふくらませて描いてみよう!

講師：さとうわきこ(絵本作家)

日時：7月27日(日) 午後1時半～

会場：美術館1階講座室

定員：20名(小学生未満は保護者同伴でご参加ください)

*要予約(お電話にてお申し込みください)

*参加費無料・要当日観覧券

カフェ「えほん×うちわ」

：伊丹市立工芸センターで開催される「京団扇・日本の風展」(7月19日～8月17日)

とコラボしたカフェをオープン!それぞれの展覧会にちなんだ限定メニューをご用意しております。*数に限りがありますのでお早めにお越しください。

日時：7月5日(土)・6日(日)・19日(土)・20日(日)・21日(月祝)・
8月2日(土)・3日(日)・16日(土)・17日(日)・30日(土)・
31日(日) / 各日午前11時～午後5時

会場：旧石橋家住宅1階カウンター(伊丹郷町館内)

協力：ハーバルカフェ ルアン

お問い合わせ

岡本(展覧会担当) / okamoto@artmuseum-itami.jp

斎藤・玉澤(広報) / info@artmuseum-itami.jp

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-20 伊丹市立美術館

TEL 072-772-7447 / FAX 072-772-5558



▶ ④『お友だちのほしかったルピナスさん』より「あつのお茶」 1968-69年, ガッシュ・紙

『お友だちのほしかったルピナスさん』はシュレーダーの処女作にて代表作です。

30歳のシュレーダーが辛い恋心から孤独で不幸せな気持ちで寝転んでいるとき、ふと頭に浮かんだ場面がはじまりとなり、物語がつけられました。人形のルピナスさんと鳥のロベルトが、紙箱のパタコトン氏と卵のハンピィ・ダンプティと友だちになり、一緒に冒険するというお話です。初めて出版された絵本ですが、本作にてシュレーダーは一躍注目され、BIB金のりんご賞をはじめ数々の賞を受賞します。

▶ ① ② ④

⑤『アーチボルドのほっぺた』より「陸にあがって歩く」 1968-70年, ガッシュ・紙 ▶

第2作目となる『アーチボルドのほっぺた』は、怠け者のアーチボルドの右の「ほっぺた」が退屈のあまり逃げ出してしまい、世界中をまわって追いかけるというお話です。背景が平面的に描かれており、まるで絵画のなかにアーチボルドが迷い込んだかのようなのです。

▶ ③ ⑤



▶ ⑥『こんにちはトラクター・マクスくん』より「マクスをよびとめるクラスさん」 1970-71年, ガッシュ・紙

お百姓さんのクラスさんの農場にやってきたトラクターのマクスが、馬のフロリアンと仲良くなるお話である

『こんにちはトラクター・マクスくん』は、シュレーダーが友人の父親がもつ北ドイツの農場をたずねたとき、目にした光景を元に描かれています。人と動物の力に頼った昔ながらの労働が今でも通用することに気づき、機械のトラクターに生命を与え、動物と対置しました。人間と動物、そして機械とが、自然のなかで共存して生きる美しい情景が描かれています。

本作のように、シュレーダーの絵本には、植物や動物、季節や天候によって変化する情景がよく現れます。これは、「自然」が身近なものであり、大切な友だちでもあった子どもの頃の体験から生まれたものです。

⑦『わにくん』より「ソフィーさんをひとのみする」 1974-75年, ガッシュ・水彩・紙 ▶

『わにくん』もシュレーダーの代表作として挙げられます。ナイル川に住むワニが「わにの店」があると聞き、パリへ旅に出ます。しかしその店がワニ皮製品の店だと知ったわにくんはショックと悲しみから、売り子のソフィーさんを丸呑みし、店の商品を奪ってナイル川に帰ります。人間とワニの立場が逆転した諷刺のきいたお話は、夫であるペーター・ニクル氏によってつくられました。このように夫ニクル氏との共同作は、以後も多数生まれました。本作はその完成度の高さからライブツィヒ国際図書芸術展名誉賞を受賞します。



▶ ⑧《赤い鳥のフェリックスとマスタード王》 1971年, ガッシュ・紙

石の創作《顔》▶

本展では、シュレーダーの絵本以外のさまざまな創作についてもご紹介いたします。一枚絵にはシュルレアリスムの影響がみられ、寓意的に描かれた動物や風景が描かれています。また、アフリカ南西部にあるナミビア共和国を旅したときに会った情景から大きな影響を受けた作品も含まれます。さらに日常のなかから生まれた作品もたくさんあります。なかでも道ばたで拾った石に、その形からインスピレーションを受けて描いた「石の創作」では、何気ない日常のなかで想像し、もう一つの世界を発見する喜びと楽しみが感じられます。



広報用画像とチケットプレゼントの申込書

各位

前略 この度、「ビネッテ・シュレーダー展 美しく不思議な世界」(2014年7月5日(土)～8月31日(日))を開催いたします。貴媒体での掲載にあたり、画像、読者プレゼントのための展覧会チケットがご入用の際は、下記書類にご記入の上、美術館までFAXあるいは郵送にてお申し込みいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。 草々

必要な箇所に を入れ、下記の貴媒体情報にご記入ください。

画像 (別紙の広報用画像一覧よりお選びください。)

- ① 『お友だちのほしかったルピナスさん』より「紙の家でおやつ」1968-69年, ガッシュ・紙
- ② 『お友だちのほしかったルピナスさん』より「おおさわぎ」1968-69年, ガッシュ・紙
- ③ 『アーチボルドのほっぺた』より「リンゴの木」1968-70年, ガッシュ・紙
- ④ 『お友だちのほしかったルピナスさん』より「あついお茶」1968-69年, ガッシュ・紙
- ⑤ 『アーチボルドのほっぺた』より「陸にあがって歩く」1968-70年, ガッシュ・紙
- ⑥ 『こんにちはトラクター・マクスくん』より「マクスをよびとめるクラスさん」1970-71年, ガッシュ・紙
- ⑦ 『わにくん』より「ソフィーさんをひとのみする」1974-75年, ガッシュ・水彩・紙
- ⑧ 《赤い鳥のフェリックスとマスタード王》1971年, ガッシュ・紙

*ご使用の際は、上記に記載する各キャプション(作品名、制作年)を明記してください。

*掲載スペースからキャプションを短縮する場合は、作品名の「」の箇所は抜いていただいてもOKです。

*部分使用やトリミング、図版の上に文字を重ねるなどの処理はご遠慮ください。

チケットプレゼント用招待券 5組10名様 10組20名様

*1組は2名様となります。10組20名様まででしたら何組でも可能です。お問い合わせください。

*チケットプレゼント以外でのご使用はご遠慮願います。

掲載媒体名: _____ 掲載予定日: _____

御社名: _____ ご担当者名: _____

e-mail: _____

tel: _____ fax: _____

ご住所: 〒 _____

*本展記事をご紹介くださる際は恐れ入りますが校正をお送りください。掲載された刊行行物、DVD、CD等も当館に一部ご寄贈ください。

送付先: **伊丹市立美術館**

Fax: 072-772-5558